

# 自主防災組織があったら...

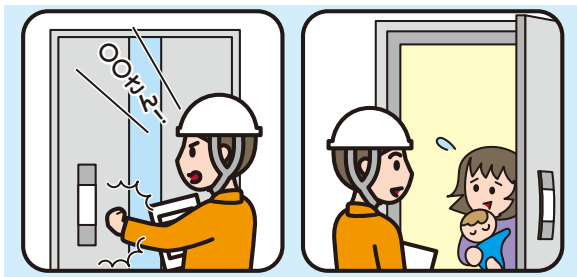
もし、Aさんのマンションに自主防災組織があったら...。  
ここでは、自主防災組織の活動の一例をご紹介します。

## ① マンション自主防災組織 初動期の対応

**1** まず、身の安全と家族の安全を確保してから、**災害対策本部\***を立ち上げるため、本部要員があらかじめ決めた会議室などに集まり活動を開始しました。



**2** 各階の出火や建物被害の状況、けが人がいないか等を各階**フロア担当者\***が協力して確認しました。事前に配布してある**安否確認票\***をドアに貼るよう指示が出ました。



**3** 15階でけが人が1名発生。幸い歩くことができたので、救出救護班の人が付き添い、1階まで降りし、近くの**医療救護所\***へ搬送しました。

### \*災害対策本部

災害時には、各班に対する指示や全体の被害情報などをまとめ、防災関係機関や設備事業者などに対し、情報収集や要請を行います。

### \*フロア担当者

特に高層マンションでは、各階またはいくつかのブロックに分けて、担当者を決めておくとうまいでしょう。フロア担当者は、居住者をまとめるとともに、災害時は各班と協力して活動します。

### \*安否確認票

災害時に、玄関扉などに貼りだすことで、居住者の安否や状況を自主防災組織に伝えるものです。マンションの状況に合わせて内容を決め、平常時に配布しておくとう便利です。

安 否 確 認 票			
棟 名	階 号	氏 名	家族の人数
家族全員の状況	家族にけが人がいます( )人	家族の安否確認中	
避難している場所	避難先	会社 学校 外出	
避難できなかった場合	理由	住所	
<input type="checkbox"/> 口の中にものを入れています <input type="checkbox"/> 高齢者がいるので安全な場所に避難できない <input type="checkbox"/> 病人在るため避難できない <input type="checkbox"/> 水・食料が不足している <input type="checkbox"/> 情報がなくて、正しい情報を知りたい			



**\*医療救護所** 災害時に軽症のけが等を治療するために設置される救護所。

発災～6時間

6時間～72時間

72時間以降

**緊急医療救護所**

- 永寿総合病院前
- 浅草寺病院前
- 浅草病院前
- 台東病院前

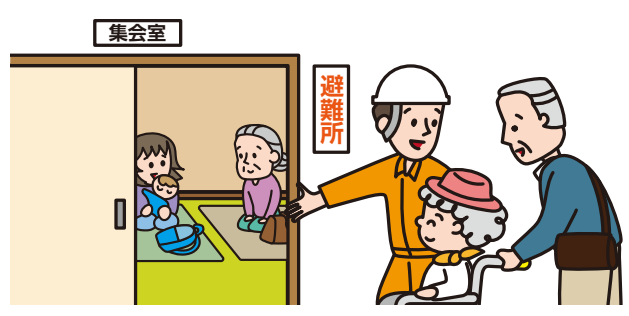
**避難所医療救護所**

- ※近隣に病院がない地域
- 谷中小学校
- 蔵前小学校

#### 避難所医療救護所

平成小学校、東上野区民館、忍岡小学校、根岸小学校、東泉小学校、台東育英小学校、田原小学校、千束小学校、石浜小学校

**4 マンション独自の災害時要配慮者名簿\***に記載されている人の安否確認が終わり、本部に報告。上層階の方で不安な方がいることを伝え、1階集会室を避難スペースとして開設し、避難せることを決定しました。



**5** 本部では、その後もインターネットやテレビ、ラジオなどの情報、建物の被害情報が集まっています。排水管の安全確認ができないためトイレを使わないこと、安否確認票の貼りだしなどを指示しました。

**\*マンション独自の災害時要配慮者名簿**

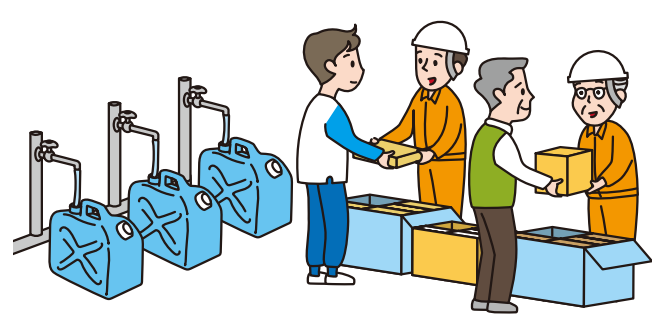
災害時要配慮者カードを作成し、それを基に名簿を備えておくと、災害時に安否確認や救出救護活動などをスムーズに行えます。

災害時要配慮者カード			
氏名	男・女 ( 年 月 日生)	使用している医療器具等 器具等の名称 ( )	有 ・ 無
住所	非常の場合の連絡先		
電話・FAX	氏名		
携帯電話	住所		
血液型	R h + ・ -	電話	F A X
階段の上り下り	可 ・ 不可	携帯	
屋外の移動	可 ・ 不可	かかりつけの医療機関	
会話の不安	可 ・ 不可	病院名	
現在受けている医療処置	有 ・ 無	住所	
		電話	



**2 マンション自主防災組織 2日目以降の対応**

**1 受水槽\***からの水の補給と備蓄した食料品を物資供給班が配布開始。自主的に備蓄していた人と公平になるようあらかじめルールを定めてありました。

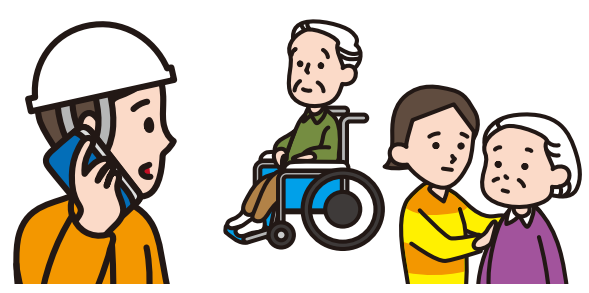


**\*受水槽**

災害時、受水槽に溜まった水を確保しておくことができます。(地震を感知して自動的に給水を止めるものもあります。)水道水なので、飲料水として使用できます。

**2 居住者カード\***を確認したところ、介護従事者がいたため、介護が必要な人の介護をお願いします。

介護が必要な人がいます



**\*居住者カード**

災害発生時の安否確認や救出救護活動をスムーズに行うために、居住者の世帯人数や職業等を把握しておきましょう。ただし、居住者名簿は個人情報であるため、プライバシーに配慮した取扱のルールを定めておきましょう。

居住者カード					
世帯主氏名	部屋番号	部屋の用途	住居	事務所等	
職業	電話番号	携帯電話			
世帯員の氏名	職業	続柄	血液型	日中連絡が取れる電話番号	
緊急連絡先	氏名	電話番号			
その他(健康上の問題など、知らせておきたいことを記入してください。)					

**3** ライフラインが復旧しないため、実家や親戚の家に避難する人も出てきました。避難する人は安否確認票に書き込むとともに、災害対策本部に連絡先を届けていきます。避難するときはブレーカーを落とすなど、災害対策本部から注意事項を伝えます。

こちらに書き込んでください

ブレーカーを忘れずに落としてください

実家に避難します



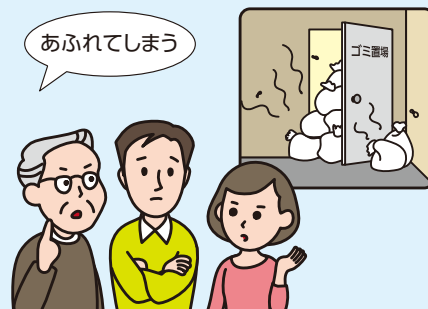
**4** ごみ処理・汚物処理\*が問題になってきました。電気が止まったため、冷蔵庫の食品も腐っています。本部からは、自宅であるべく保管するよう指示が出ています。一部、衛生的に自宅に置くことができないものは、決められたところへ集積することとなっています。

#### \*ごみ処理・汚物処理

災害時は、道路事情などによりごみ収集ができなくなることが想定されます。収集再開までは自宅で保管することが原則ですが、発生したごみの処理についてあらかじめ決めておくことも必要です。



あふれてしまう



**5** 電気が復旧しました。エレベーターも安全点検の日程が決まり、復旧のめどがつかしました。少しずつ日常を取り戻しつつあります。



### 自主防災組織があれば…

中高層マンションの中には、防災センターが管理会社によって運営され、常駐する警備員がいる場合があります。しかし、災害時には、けが人対応やエレベーターの閉じ込め、住民からの問い合わせに追われ、各戸の状況を把握し、すべてに対応することは困難だと想定されます。このような時のために、自主防災組織を結成し、住民が相互に力を出し合い、助け合う体制を作りましょう。

